

遺品をていねいに天国へ送り届ける

人が一人亡くなれば、故人の生きざまを語るたくさんの遺品があとに残される。それらをていねいに整理してくれるプロの存在は、遺族にとって頼もしい限りだ。「キーパーズ」では、遺品はゴミではないという考えをもち、遺品整理サービスを提供している。



貴重品などがなければ、遺族のチェックを受けてから、リサイクルか廃棄かを判断しつつ、箱詰めを開始



思い出の品と思われるものは、大切に分別しておき、後で遺族に確認・判断をおこなう



書類など、廃棄してはいけないものがないか確認し、手早く分類。みるみる部屋を片付けていく



吉田 太一 profile



吉田社長の数々の著書には、遺品整理の膨大な実績から、自分で生前にしておいた方がよいことや、いざ遺族の家の整理のときに必要なもの、心構えなど、役立つ情報が満載。

「遺品整理の仕事は、天国への引越し作業」。2002年に日本初の遺品整理専門会社「キーパーズ」を設立した、社長の吉田太一氏は言う。「引越し作業を営んでいた頃、膨大な遺品の処理に困っていたお客を見てこの事業を思いついた。親族を亡くすることはそれだけでも精神面を消耗するが、

遺品整理の負担はさらに重くのしかかる。その遺族に「遺品の整理を代行させてもらいますよ」と申し出ると、「あなたが神様に見えるわ」と喜ばれたという。「天国へのお引越しのお手伝いが当社の仕事。ご本人は先に天国に行っているけれど、故人が気に入っていたご遺品も天国に



このケースは賃貸の部屋だったので、すべてのものを運び出すと清掃をして、すぐに返却できる状態に

届けてあげたいと思い、遺品の供養も行っております。きちんと供養することで、ご遺族の気持ちも軽くなるのです」と吉田さん。遺品をただ「捨てて」しまうことには、何となく後ろめたい思いを感じる人もいらっしゃる。特に、故人の思い出のあるもの、大切にしていたもの、肌身に近かったものなどには、故人そのもののような存在感がある。そうしたものを、供養するサービスも無料で提供しているそうだ。

新サービスのひとつにある「クーパーズ」は、自分の遺品を確認し、残すものと処分するものを分けたりする事前整理サービスである。遺品整理と同様に自分や家族ではなかなか片付けられない長年にわたって蓄積された荷物を整理し、これからの人生をすっきりと暮らすことを提案している。



故人が生前大切にしていたものをただ捨てるのは…という人には、僧侶に供養してもらうサービスも



ものを無駄にせず、まだ生かせるものは生かすという考えで、リサイクルできるものは買い上げてくれる

おひとりさまでも だいじょうぶノート。



遺品整理の現場で多くの孤立死を目の当たりにしてきたキーパーズが独自につくったエンディングノート。これからの人生を有意義に生きるための内容が強く盛り込まれている。

「おひとりさまでもだいじょうぶノート」を無料配布

以下の必要事項をご記入の上、キーパーズまで「ハガキ」でお申し込み下さい。

- 郵便番号 ●ご住所 ●お名前 ●ご年齢(差し支えない方)
 - お電話番号 ●ご希望冊数(1冊・2冊)
- ※一世帯様2冊まで。(送料無料・ヤマトメール便にてお届けします)
※お電話でのお問い合わせは、ご遠慮下さい。



キーパーズ

〒東京都大田区大森本町 2-4-22-501

☎0120-754-070

年中無休

http://www.keepers.jp/